

仙台司教区 教区事務所だより



(第 22 号)
昭和54年7月1日

初夏の空に

若人の声援響く!

第13回仙台カトリック三校定期戦

第28回宮城県高等学校総合体育大会

今年も恒例の三校定期戦が去る5月24日(金)に、また、6月2日から4日までの3日間にわたり、宮城県高等学校総合体育大会が、各会場にわかれて行われた。

幸い好天に恵まれ、若人が力一杯、日頃きかえた技を競い合った。仙台市内のカトリック三校も、それぞれ善戦、優秀な成績をおさめたことは喜ばしいことである。競技成績は、次の通りである。

◎ 三校定期戦

バレーボール①ウルストラ②ドミニコ③百合合
バスケット①ウルストラ②百合合③ドミニコ
軟式庭球 ①百合合 ②ドミニコ ③ウルストラ

卓球(オープン) ①百合合 ②ウルストラ ③ドミニコ

ソフトボール①ウルストラ②百合合③ドミニコ
総合 ①ウルストラ ②百合合 ③ドミニコ

◎ 高校総体(カトリック校舎の分)

● バドミントン女子団体①ウルストラ③百合合
個人シングルス①西本秀子(ウルストラ)

③ 森美妃子、品川明美
(ウルストラ)

ダブルス ①西本・品川(ウルストラ)

③ 森・佐藤直美(ウルストラ)
⑧ 大越敬子・菅原千晶(百合合)

● 軟式庭球女子団体 ③百合合
個人 ⑥穴戸明美・木村嘉代子(百合合)

● 卓球団体女子 ③百合合
個人シングルス ①伊藤優子(百合合)

ダブルス ⑧伊藤・佐藤弘美(百合合)
● 馬術 馬場審査 ②佐藤恵(ウルストラ)

巻乗競技 ③佐藤恵(ウルストラ)
総合 ③佐藤恵(ウルストラ)

＊祝
新枢機卿に……
里脇大司教……

新聞、テレビ等ですでに報道された通り、里脇浅次郎長崎大司教(75歳)が、5月26日新枢機卿に任命された。仙台教区からも慶祝と、感謝の祈りをささげよう。

高齡司祭福祉基金

二千五百万円に!

昭和51年に発足した仙台司教区高齡司祭厚生福祉基金は、53年度末で二五八一六七三三円になった。

この基金は、引退した高齡司祭や、不治の病により第一線を退かねばならない司祭の生活扶助、医療補助、その他委員会が認めたい司祭を助ける目的で、昭和51年、ベトレム会の肝入りで発足したものである。

小教区、修道院、個人からの寄付金により基金を積み立てているが、教区民の熱心な協力により、51年度の基金への繰り入れ額は、八百余万円に上った。まだまだ基金を使用する段階には至っていないが、病气や老後の心配なく安心して司祭方が働けるようになることを目ざして、毎年募金を行っている。

送金先は、次の通り。
郵便振替 口座番号 仙台4356
加入者名 カトリック仙台司教区

高齡司祭厚生福祉基金

◆ 金・銀の祝い続く！

島田実師
M・ポリケン師
S・村首 師
M・ペランジェ師



小林司教様に続き、今年は4人の司祭方が司祭叙階25周年、50周年をむかえる。

6月27日はM・ポリケン師(十和田教会)、7月4日はM・ペランジェ師(白石教会)が、それぞれ25周年である。両師ともケベック外国宣教会会員としてカナダより来日、地方教会の発展のため活躍している。又、ベルギーより来日し、仙台教区司祭として働いている村首師は7月11日が25周年だ。現在鶴ヶ谷を拠点として北方開拓を目ざしてユニークな宣教活動をするかたわら、白百合短大で宗教学を担当している。

12月8日は、島田実師の司祭叙階50周年にあたる。島田師は、仙台教区では最長老で、金祝をむかえる司祭の第一号でもある。

昭和4年ローマで叙階されて以来、北海道、東北各地で司牧に従事し、特に戦中・戦後の混乱のさなか教会を守ってきた。授洗者の数は千五百人にも及び、その内、召命を受け司祭、修道者になった人も多い。

現在、信徒有志により祝賀の計画が着々と進められており、記念誌も発行される予定である。

春の寿庵祈願祭

岩手・水沢教会恒例の後藤寿庵祭は、5月27日、寿庵ゆかりの同市福原で挙行された。午前9時半、福原公民館前から十字架と寿庵の肖像旗を先頭に、司祭と信者の行列が、「天のきさき」の聖歌を歌いながら約五〇〇メートルを行進し、寿庵廟についた。

会場には、多数の司祭・修道女のほか、岩手・宮城・青森からの信徒、地元福原の住民約四百人が集まり、ローネル神父の田畑の祝別、豊作祈願、水沢市長ら来賓祝辞のあと、ペトレム宣教会司祭と小野忠亮神父ら8人の司祭で共同ミサが献げられた。ツィゲル管区長は説教で、キリストの教えに従い、隣人愛を実践した寿庵の模範にならおう、と力強く訴え、深い感銘を聞く者に与えた。

前日の豪雨で案じられた天候も、「寿庵祭は決して雨は降らない」というローネル神父の確信どおり、式中は日がさし、無事であったが、午後になって、あやしくなった。

青森・岩手で

カトリック幼稚園教職員研修

去る6月8・9日の両日、青森県下のカトリック幼稚園の先生方一六〇名が一堂に集まり、焼山温泉簡易保険保養センターで、「よりよい保育をめざして」というテーマのもとに、研修を行った。イエズス会のグスタフ・フォス師を講師に、両日に渡り「カトリック

幼稚園の先生に期待すること」「幼児教育の在り方」について考え、活発な話し合いもなされた。又、6月11・12日には八幡平ハイッで、岩手県幼稚園教師89名が田中澄江氏を講師に、「明日を育てる教師」(教師としての心構え)というテーマで研修を行い、実りある時を過ごした。

吉田昌民師

聖地巡礼団長に

カトリック新聞夏休み聖地巡礼団の今年の巡礼の団長に、仙台教区事務所の吉田昌民師がきまった。8月7日(火)成田を出発、エルサレムを中心に、ローマ、アンジ、ルルド、パリを経て8月22日(水)帰国の予定である。8月15日の聖母被昇天祭には教皇様との公式謁見もある予定で、帰国後のみやげ話が楽しみである。7月半ばまで、参加申し込みを受け付けている。

司教様の日程

(6月18日現在)



- 7月4日 会津若松教会堅信
- 7月15日 水沢・北上教会堅信
- 7月16日 カテキスタ役員会
- 7月17日
- 7月26日 社会福祉法人理事会

仙台教区では、どのような広報活動を通して教会内外に福音宣教しているだろうか。このたび広報委員会の要請により各教会にアンケートしたところ、次のような結果が出た。あなたの教会でも参考になることは、ありませんか？ ※()内は意見数

(1) 教会内部に対する広報活動は？
① 小教区報を、全信徒に配布。家庭訪問、郵送等で徹底させる。(7)

広報活動の現状

仙台教区内でのアンケートより
(58教会中23教会回答)

② 教会内、聖堂内に、ポスター、カトリック書籍、リーフレット等の展示、および配布。(6)
例心のともしび、太陽のほほえみ、学校と家庭、クリスチャン・デイスカバー、生活によるあかしシリーズ、光の子、カトリック新聞、あけぼの、こじか、カトリックグラフ、カトリック生活。

(2) 小教区報の有無
有り。(17)
発行回数 年一回(1)、二回(2)、三回(3)
四回(1)、 毎月一回(6)、二回(1)
毎週(2)、 休刊中(1)
これから出す予定(1)

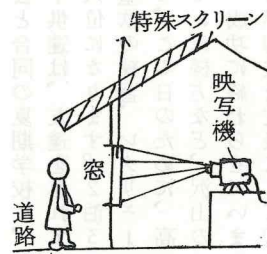
(3) 教会外部に対する広報活動は？
① 内部に対する活動は、ほとんど外部に對

しても同様に行われる。特に心のともしびの無料配布は、幼稚園関係、小教区内の全家庭を訪問する等して行われています(教会と関係のある集金員さん達に配布する教会もある)

② 教会前の掲示板を、魅力的なものにして活用。

- (a) 掲示板に夜間照明をつける。
- (b) 毎月テーマをきめ、モニタージュ写真をはる。(白石)使用後お貸しします。
- (c) キリスト像(約4m)を玄関正面に置き、夜間照明をする。(平)
- (d) 道路に面した所にデイライトスクリーンを設備し、ある時間連続スライドを映写する。(志家)

③ 5か年計画で、小教区内のすべての家庭を軒並み訪問する。(一本杉)



訪問の際、次の印刷物を配布。
(心の平安カード、教会案内、心のともしび)

実施状況 昭和52年4月~10月
十町内、四三七三軒
53年4月~11月
四町内、一、二、三、五軒
(4) マスメディアを、どのように使ったか？
● 映画会(3)ある教会では、公立中学校

でも上映した。

- スライド、ビデオ利用。(3)
- (結婚講座、小さき姉妹の活動等)
- 写真展(1)
- 放送「心のともしび」放送のため原稿提供、出演協力(2)

その他の方法

- 病院の待ち合い室にカトリック書物を置いてもらう。
- カトリック界の有名人の講演会、市民講座を通しての活動。
- 付属幼稚園の父兄への働きかけ。
- 父兄参観日に、カトリック書籍の展示、販売。

(6)

- 事務所だよりに対する意見、希望。
- 事務所だよりという名称が堅苦しく、事務連絡的でよくない。
- 毎月の発行を続けてほしい。
- 無料で配布するものには、関心が薄くなる。有料化について読者の意見を聞いたらどうか。
- 心のともしび東北版と記事が重複しているものが多い。将来に向かって相談すべきではないか。
- 教会内では、ほとんど反応がない。





塩町教会は、八戸市の中心地より港へ1キロ位行った住宅街にあります。

日曜学校は、毎週日曜日、9時半のミサの後、隣のイメルダ幼稚園を借り、12時頃まで行われます。生徒数は、信者、未信者合わせて30人位で、今まで一クラスでやっていますが、勉強の内容を考え、低学年と高学年の二クラスに分けた方がよいのではないかといいことで、今年の春から実施することになりました。しかし、それぞれ学校が違うため、運動会や遠足などの行事がある時は、思い通りの人数が集まらないのが、現状です。先生方は、学校の先生2名、会社員2名の4名でやっていますが、今後のために先生の養成が必要と痛感しています。

参考資料として、「小学生のカテクジス」「こじか」、またその日のミサの説教など。また「典礼聖歌」「心の中でメロデー」な

~~~~~

どの歌を歌い、時々ゲームや、おやつを出したり楽しく過ごすよう心掛けています。最近はお祈りや、聖歌のある出席カードを作り、出席した日にシールを張るやり方は、子供達に大変受けているようです。

毎月第一日曜日は、子供のためのミサの日とし、「子供とともにささげるミサ」を使っています。また3月のご受難節の前には黙想会を開き、スライドを見せたり、クラスごとに分けて受難と復活について黙想したりしています。

夏、行われる較教会と合同の夏期学校は、人気があり、信者の子供達は、友達を連れて来たりして、50〜60人位になります。2泊3日で、宗教の勉強、聖歌の練習、レクリエーションなど盛り沢山で、この日のために、高校生、社会人、そしてお母様方など、沢山の人が手伝ってもらい、成功に終わらせています。その後、子供達の感想文を文集にして記念写真と共に出版しています。ほとんどの子供達は、海水浴に行った時のことを書いています。

遠足やクリスマスパーティーなど、その時期に応じた行事がありますが、子供達は女の子が多く、今後、より多くの男の子が来ることを望んでいる状態です。これからも益々日曜学校のあり方を検討しながら、がんばっていきたいと思っています。

(日曜学校担当 近藤)

「小さなピリオド」

ロバート・ラッシュ著

女子パウロ会発行

A5変型 六〇〇円

日本向けバチカン放送開局20周年記念出版。「現代に生きる」と題して、毎週日本向けに放送された、日本を愛する著者の、あたたかいことばの収録である。

良書案内



「現代っ子の信仰教育」

京都カトリック教理センター

ター訳、編、発行

B5判 小学校各学年用

各冊 七八〇円

米国グリーンベイ市で作った教案集を日本の子ども達のために書きなおされました。子ども達の心を魅きつける童話、ゲームなど盛沢山！

これからの教会学校も年間のカリキュラムを作り計画的にすべきでしょう。カリキュラムに頭を悩ませる先生方の座右の書にどうぞ！

### カトリック

#### テレフォン サービス



#### 結婚する方の心得

- 一、結婚することがきまった方は、主任司祭に申し出る。
  - 一、（立ち合いの権利は主任司祭にある。）
  - 一、申し出に際し、洗礼証明書、未婚の身分の証明書、堅信証明書、戸籍謄本等を準備し、提出する。
  - 一、相手が、他キリスト信者か非キリスト者であるときは、①自分が、カトリックの信仰を常に忠実に守る。②生まれてくるすべての子供が、カトリック教会で洗礼を受け、教育されるようにできるだけ努力する信仰の務めのあることを相手に知らせる。（もし、伝える困難があれば、主任司祭と相談する。）
  - 一、他キリスト者のとき、洗礼と未婚の身分の証明をとってもらい、非キリスト者のときは、戸籍謄本を一通（他キリスト者のときも）提出してもらおう。
  - 一、2人の証人が必要。但し、仲人と呼ばれる人でもよい。
  - 一、結婚に必要な準備の研究にあずかる。
  - 一、結婚式のための必要な経費は、各教会によって異なるので、挙式教会で聞くこと。
- （例えば、教会へ感謝献金、司式司祭へ謝礼先唱者、侍者、オルガニスト、聖歌隊等。）

#### 参考 「結婚する人のために」

安井光雄著 中央出版社

今年には国際児童年です。これにちなんで、O.I.C.O.アジアでは、アジアの子ども達の大人への手紙を募集し、

#### "Letters From Asian Children"

というタイトルで一冊の本（英文）にしました。日本はもちろん、アジアの十三か国の子ども達の願いがこの中に書かれています。次に、インドとバングラデシュの子ども達の手紙を紹介しましょう。



#### ナンピラ（小5・インド）

ぼくの家は、とても貧しい。ぼくの両親は針や、ビーズの玉を売りながら毎日町から町へ歩いている。ぼくは、日曜だけ家に帰り、ふつうはおじさんの家に住んでいる。なぜならぼくの両親には家がないからです。

ぼくは、高校を卒業したら技師になるために、ぜひ学士号、修士号をとりたいと思う。そうすれば、ぼくはお父さん、お母さんに、家や食べ物を買ってあげることができる。

また、ぼくは貧しい人達を助けてあげたい。ぼくの家が貧しくて困っていた時、他の人達が助けてくれた。ぼくも貧しい人を助ける力を得たら、ぜひぼくもそうしたいのです。

#### エリザベス・ペリス

（10歳・バングラデシュ）

バングラデシュからこんにちは。日本の、お友だちにお手紙を書くことができてとてもうれしいです。

私は、エリザベス・ペリス。10歳。ダッカの小学校5年生です。私のお父さんは亡くなり、お母さんは田舎の家に住んでいます。私の家では、私以外にだれも教育を受けている人はいません。私は孤児院に入り、そこで勉強しています。ここで私はとってもしあわせです。

しょうらい私は看護婦さんになりたいのです。そして病気の人達に心からの愛をもって尽くしたい。そして良い薬をあげ、もし病人が失望したり、悲しく思う時は、なぐさめてあげたい。このようにして私は、社会を助けることができると思っています。

（この本について知りたい方は教区事務所までご連絡下さい。）



おしらせ



◎ 北海道で神との出会いを、キリスト共同体(MBW)夏の錬成会

● 8月2日(木) 午後6時より

● 8月8日(水) 午後2時まで

● 場所 北海道旭川カトリックセンター

● 定員 40名(定員になり次第締切ります)

● チーム 5名により 指導

● 参加費 2万2千円

● 申込先 岩井 誠

電話 仙台・五六一〇五二五

◎ 第三回全国カトリック学生セミナー

● テーマ "妊娠中絶" "部落問題"

◎ 自然の中でキリストとの出会いを求めて

北海道でいちばん美しい季節といわれる新緑の5月、海も木々のみどりもまぶしい当別のトラピスト修道院で、東北養成連盟研修会が、三泊四日で行なわれました。北海道、東

キリストとの出会いを求めて



北の四修道女会の修練者9名、修練長3名が参加し、高橋重幸師の講話によるヨハネ9・10章を中心に、共に祈り、体験し、分かち合いました。

また、美しい自然と静けさの中で、祈りと

「福音」を現代的視点から問う!

● 日時 7月28日~8月1日

● 場所 京都市洛星高等学校

カトリックに関心のある大学生の意欲的主体的参加を期待しています。詳細は左記へ。

〒160 東京都新宿区信濃町33 真生会館

◎ 住所変更

次の施設は、住所表示変更により左記の通りの住所になりました。

● 弘前大清水学園

(新住所) 弘前市大字清原四丁目9の1

● 弘前大清水ホーム

(新住所) 弘前市大字清原四丁目9の2

● オタワ愛徳修道女会 八木山修道院

(新住所) 仙台市八木山東一丁目12番6号

労働に明け暮れているトラピスト修道士たちと共に祈った体験は、それぞれの心に新しい感動を呼び起こしたことと思います。世間と全く隔絶され、なぜあのような毎日を過ごしているのか、修道士たちの姿から、誰の胸に

も自分の修道生活を確認する思いがあったのではないのでしょうか。そして修道会は違っても、やはり私たちは兄弟姉妹として、キリストのもとにひとつに結ばれているということを感じたのでした。(参加した一修練者)

編集部より

おねがい

あれこれ!



事務所だよりも今月で22号になりました。読者の声、紙面を良くも悪くもします。教区の皆様の御意見を、お待ちしております。なお、連載記事もいくつか入れ、投稿の欄も、もうけました。ふるって御投稿ください。

投稿規定

● 投稿締切日 毎月十日

● 教会学校めぐり 原稿用紙2枚

● ひろば

こども達の作文、詩、絵など 原稿用紙1枚

● カット、マンガ等 一コマ5平方センチ

● 読者の声(意見、希望、随想等) 原稿用紙1枚

● おしらせ、案内

(黙想会、研修会...)

● その他小教区のニュース

日時、場所、内容、連絡先明記のこと。

● 仙台司教区事務所だより第22号

● 昭和五十四年七月一日発行

● 発行所 仙台司教区事務所

● 〒980 仙台市本町一丁目2番12号

● TEL 0222 22 7371